
山の芋「やまじ丸」の紹介

- 「やまじ丸」は平成21年に愛媛県農林水産研究所が育成した山の芋の新品種「やまじ王」を四国中央市内で栽培したものです。
- 「やまじ丸」の名称は「四国中央やまじ王生産振興協議会」（生産者・JA うま・藤田青果・愛媛県・四国中央市等）で決定してキャラクターも含めて令和元年に商標登録しました。
- 特徴は、在来の山の芋に比べて芋の形状は丸く、下部が滑らかで、すりおろした時の粘りが強く、とろろや和菓子、揚げ物、汁物に使われます。

「やまじ丸」由来

（命名由来）

- 四国中央市に吹く日本三大局地風「やまじ風」に由来し、強風にも負けない強さを表現した「やまじ」と勢い・強い・高級というイメージをもつ「丸」を組み合わせ、産地が今後飛躍することを願い命名しました。

（キャラクター由来）

- 無名だが腕に覚えのある若武者をイメージし、名を世に響かせることが出来るように育ててほしいとの思いでデザインしました。



産地紹介

愛媛県四国中央市は明治後期から山の芋を栽培しており、兵庫県丹波地方や石川県と並ぶ産地です。

瀬戸内の温暖な気候と宇摩地方特有である四国山脈からの吹きおろし（やまじ風）と冷たい地下水の恵みにより品質は最高級と言われています。

「やまじ丸」の栄養



食物繊維やビタミン B 群が豊富で腸内環境を整える働きや塩分の排泄を促すカリウムなど健康や美容に必要な栄養が入っています。生でも食べられるので加熱に弱い栄養素もまるごと取ることができます。

また、「やまじ丸」は同年、安全・安心（人と環境への愛）、品質（産物への愛）、及び産地・特産（ふるさとへの愛）の三つの「愛」をもつ優れた愛媛県産農産物として、「愛」あるブランド産品に認定されました。



愛媛産には、愛がある。

ブランドマーク